

# 文化事業調査結果 一覧

資料③

今後の取組・・・A:事業費を増加したもの B:事業費は増加しないが、内容を充実するもの C:昨年度の計画とおおむね同様の内容で開催するもの D:事業費を削減したもの E:廃止したもの  
※事業費は決算額であり、事業予算が前年度と比べて増加している場合でも、当初予算ベースで増額されていない場合は拡大としない。

基本施策	No.	事業名	担当課	R2		今後の取組	左記の理由	R3	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
①協働による文化活動の推進	1	草津市美術展覧会	生涯学習課	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門による公募型的美術展覧会を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大により、オープニングコンサート及び作品批評会は中止とし、表彰式については規模縮小とするなど、感染対策を講じて開催した。また、展覧会の見直しを行うとともに、令和3年度の会場移転に向け具体的な準備を進めた。	1,819千円	B	新会場で開催し、イラスト部門、市展デビュー賞を創設するため。	会場をキラリエ草津(市民総合交流センター)に移転し、開催する。また、例年の6部門に加え、イラスト部門を特別企画展として実施するほか、本展覧会に初めて出品する方を対象とした賞(市展デビュー賞)を創設する。	2,380千円
	2	ピワアートコレクション	生涯学習課	月替わりでアーティストが、草津の文化的資産や季節をテーマにしたアートワークショップを実施。10月3日～10月11日の間、アートフェスタくさつのプレイベントとしてBIWART FESを開催し、4コマ絵本コンテスト、ワークショップ、展覧会、ライブ等によりイオンモール草津館内をアートで彩った。	0	B	民間事業者、アーティストとの協働事業として、先駆的な取組を進めることができた。今後より連携を強化し、様々な取組を進めるため、強化とする。	事業の更なる充実を図るため、大学や博物館、美術館等との連携を検討する。	0
	3	立命館びわこ講座	生涯学習課	立命館大学との共催により生涯学習の連続講座をインターネット動画配信により実施した。 ・テーマ:近江を学ぶ、草津を識る ・担当講師:藤田 聡氏(スポーツ健康科学部 教授)、堀越 昌子氏(滋賀大学名誉教授)、山崎 有恒氏(文学部 教授)、深川 良一氏(理工学部 特命教授)、本郷 真紹氏(文学部 教授) ・全5回	150千円	C	仕事や趣味、自治体やサークルに生かしたい(生かしている)といった声が多く上がっており、市民の生涯における学びの機会の提供と同時に、地域を知り、地域を支える人づくりへのきっかけとなっているため、継続して実施する。	・テーマ:興味・関心を深掘する～現在・過去・未来～ ・講師ならびに講座内容については、現在調整中	150千円
	4	クリアプラスフェスティバル	文化ホール	新型コロナ感染症の影響を受け、一堂に会しての実施は取り止め、個別に演奏の様子を収録し、その模様をYouTubeで配信した。	477千円	C	市内中学、高校、大学、一般吹奏楽団体が一堂に会する機会の提供と合同演奏プログラムは青少年にとって貴重な経験となり、育成につながるため継続して実施する。	今後、実行委員会で事業計画を検討していく。	1,198千円
	5	草津市民文化祭	文化ホール	新型コロナウィルス感染症の影響により中止した。	0	C	文化団体の発表の場として定着していることから、継続して実施する。	今後、実行委員会にて事業計画を検討していく。	1,068千円
	6	草津市合唱祭	文化ホール	新型コロナウィルス感染症の影響により、無観客による「合唱のつどい」として実施した。	174千円	C	合唱団の発表の場として定着していることから、継続して実施する。	草津市合唱祭として公募。実行委員会制で実施。	988千円
	7	市民と創るコンサート	文化ホール	市民団体と連携し、敷居が低く低価格で誰もが気軽に鑑賞できるホールの入り口事業としてジャズやクラシック等のコンサートを計5回実施した。	1,656千円	C	新たな客層の獲得、文化の担い手の育成に繋がっていることから、継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	2,306千円
	8	えふえむ草津サテライト公開ラジオ番組連携スプリングコンサート	文化ホール	草津市出身のピアニスト稲垣聡氏と新垣隆氏をゲストに迎え、1年間を通じてリモートで繋がることを目的に実施してきた「クリアで会いましょうプロジェクト」を振り返り、市民団体との演奏等を披露した。	3,362千円	E	別事業に変更するため。ピアニスト稲垣聡を芸術監督に迎え、オーケストラによるコンサートを「滋賀県アートコラボレーション事業」として実施予定。	—	—
	9	滋賀県アートコラボレーション事業	文化ホール	子どもや若者が対象となる公演、次代の文化を担う人材の育成・支援となる事業、および伝統芸能を活用した地域性が豊かな事業として下記の3公演を実施。「教えて！ベートーヴェン」「サンリオピューロランド in Shiga」「おうみ狂言図鑑」	2,898千円	C	(公財)びわ湖芸術文化財団と協働することにより、市民に上質な舞台公演を鑑賞する機会を提供できていることから継続して実施する。	令和3年度は、「滋賀県文化奨励賞受賞者によるコンサート」と「おうみ狂言図鑑」を開催する。	1,814千円
	10	アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業	UDCBK	アーバンデザインスクールは、前期と後期に分け、各5回の開催を予定していたが、施設内での対面講義形式でのスクール開催は3密対策の観点から見直しせざるを得ず、前期のスクール開催を断念した。後期については、テーマを「これからの健康都市に向けて～with/afterコロナのまちづくり～」とし、実施した。アーバンデザインセミナーでは「20年後の南草津の『まちと交通』の未来を考えよう」や「『健やかなまち』を考える」というテーマを中心に実施した。	349千円	C	産学公民連携を基礎として草津市の未来を考えるためには、中長期的に事業を継続していく必要があるため。	オンラインを併用することで、昨年のような開催中止をすることなく、予定どおりに実施する。	829千円
	11	くさつ図書館まつり	図書館	本のリサイクル市、おはなし会、ピリオパトル、点字・音訳コーナー、書庫見学、クイズ、工作コーナーなどを予定していたが、読書活動を行っている市民団体のメンバーなどボランティアで構成された実行委員の意見を取りまとめた結果、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	0	C	市民実行委員会との協働事業であり、広く市民に図書館利用を誘う契機となっていることから継続して実施する。	今年度については、全国読書週間期間内であり、文化の日でもある11月3日(水・祝)に開催する予定であるが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて実行委員会を中心に内容を検討する。	30千円

基本施策	No.	事業名	担当課	R2		今後の取組	左記の理由	R3	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
② 文化施設の活用および充実	12	文化ホール管理運営業務	生涯学習課	指定管理期間：令和2年度～令和6年度 文化振興計画に基づく重点プロジェクトの展開に向けて協働で取り組んだ。なお、クリアホールは、改修工事のため5月～6月の間、休館した。また、新型コロナウイルス感染症の影響による両館の休館期間もあった。	127,379千円	C	文化振興計画に基づく重点プロジェクトの展開に向けて、引き続き連携して事業を実施する。	前年度と同様の内容で取り組む。	113,159千円
	13	(仮称)市民総合交流センターへの展示機能付加	生涯学習課	キラリエ草津(市民総合交流センター)が完成し、同施設で草津市美術展覧会が実施できるよう、必要な備品等の仕様について関係課と調整を行った。	8,778千円	E	キラリエ草津が完成し、展覧会の開催に必要な設備や備品等の購入を終えたため。	—	—
	14	アウトリーチ事業	文化ホール	ルーフトップコンサートを開催した。その他、障害者福祉施設へのアウトリーチコンサートを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とし、インリーチコンサートを開催した。	9,064千円	C	誰もが文化に触れる機会の充実に資する事業となっているため、地域の要望に応じ、継続して実施する。	学校や地域の要望に応じてアウトリーチ、インリーチを実施する。	2,043千円
	15	リハーサル事業	文化ホール	ホールの予約に空きがあるタイミングで、ホールのステージにおいてグラウンドピアノを使用した演奏を行える機会を30分1,000円の価格設定で提供した。	225千円	C	コロナ禍で、発表に向けた演奏の場を提供できていることから継続して実施する。	クリアホールにてストリートピアノ体験として実施。ホール利用のない日にロビーでグラウンドピアノの演奏の機会を無料で提供。	0
③ 情報の収集および発信の充実	16	次世代文化体験プロジェクト情報発信事業	生涯学習課	—	—	—	新規	草津市教育委員会が後援している事業のうち、次世代文化体験プロジェクトに該当するものについて、該当事業をリスト化し、ホームページ、アプリ等で周知を行う。	0
	17	Youtubeを活用した公演アーカイブ事業	文化ホール	過去のコンサートや展示会の映像を無料で配信し、ホールに来れない方にも鑑賞いただける環境を整えた。	1,585千円	C	アーカイブを充実させるため、継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施する。	1,000千円
	18	アートセンターニュース	文化ホール	アートセンターニュースとして毎月発行。事業実施予定から草津アマカホール、草津クリアホール両館の貸館情報までを掲載。市内公共施設、県内文化ホール等に配架。	436千円	C	文化ホールの事業周知に繋がっているため、継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施する。	500千円
	19	月刊アートセンター	文化ホール	草津市にゆかりのある方をゲストに迎え、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になったコンサートやアーティストの情報をラジオで発信した。	761千円	C	普段、文化ホールを訪れない方にも視聴頂ける貴重な広報の機会であるため、継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	1,153千円

基本施策	No.	事業名	担当課	R2		今後の取組	左記の理由	R3	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
④文化活動を担う人材の育成および活用	20	クリエイターズマーケット	生涯学習課	新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	※アートフェスタに含む	C	市民とアーティスト、アーティスト間の交流が広がるよう、継続して実施する。	新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、実施可能な出店・参加方法について検討していく。 展示／販売／ワークショップの他、マルシェやライブなど県内外で活躍するアーティスト、クリエイターによる出店を行う。	※アートフェスタに含む
	21	ロジウラテラス	生涯学習課	新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	※アートフェスタに含む	C	多くの来場があり、事業効果があると考えられるため、今後も寺院の立地を活かした文化体験の機会を提供できるよう、事業を継続する。	新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、実施可能な出店・参加方法について検討していく。 街道の路地裏に集まるお寺4カ所を舞台に、ワークショップやライブなどの参加型アートプログラムを実施する。	※アートフェスタに含む
	22	アートセンター	文化ホール	アウトリーチの他、市主催事業や地域のイベントにおける出演者のコーディネート、プロデュース、アドバイスを行った。	1,842千円	B	アートセンターが定着しつつあることから、市民のニーズに応えられる人材の育成に努め、アートのインフォメーション機能を充実させる。	人材育成に努め、地域の相談、アーティスト登録、コーディネート、プロデュースなどの業務を充実させる。	2,258千円
	23	青花紙担い手セミナー	草津宿街道交流館	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止した。	0	E	青花紙担い手セミナーの参加者を中心とした草津青花紙製造技術保存会が設立され、その団体において、技術の保存継承活動が実施されることとなったため。	以後は、草津青花紙製造技術保存会において実施。	—
	(2)	[再掲]ピワアートコレクション	生涯学習課	月替わりでアーティストが、草津の文化的資産や季節をテーマにしたアートワークショップを実施。10月3日～10月11日の間、アートフェスタくさつのプレイベントとしてBIWART FESを開催し、4コマ絵本コンテスト、ワークショップ、展覧会、ライブ等によりイオンモール草津館内をアートで彩った。	0	B	民間事業者、アーティストとの協働事業として、先駆的な取組を進めることができた。今後より連携を強化し、様々な取組を進めるため、強化とする。	事業の更なる充実を図るため、大学や博物館、美術館等との連携を検討する。	0
	(3)	[再掲]立命館びわこ講座	生涯学習課	立命館大学との共催により生涯学習の連続講座をインターネット動画配信により実施した。 ・テーマ：近江を学ぶ、草津を識る ・担当講師：藤田 聡氏(スポーツ健康科学部 教授)、堀越 昌子氏(滋賀大学名誉教授)、山崎 有恒氏(文学部 教授)、深川 良一氏(理工学部 特命教授)、本郷 真紹氏(文学部 教授) ・全5回	150千円	C	仕事や趣味、自治体やサークルに生かしたい(生かしている)といった声が多数上がっており、市民の生涯における学びの機会の提供と同時に、地域を知り、地域を支える人づくりへのきっかけとなっているため、継続して実施する。	・テーマ：興味・関心を深掘する～現在・過去・未来～ ・講師ならびに講座内容については、現在調整中	150千円
	(6)	[再掲]草津市合唱祭	文化ホール	新型コロナウイルス感染症の影響により、無観客による「合唱のつどい」として実施した。	174千円	C	合唱団の発表の場として定着していることから、継続して実施する。	草津市合唱祭として公募。実行委員会制で実施。	988千円
	(7)	[再掲]市民と創るコンサート	文化ホール	市民団体と連携し、敷居が低く低価格で誰もが気軽に鑑賞できるホールの入り口事業としてジャズやクラシック等のコンサートを計5回実施した。	1,656千円	C	新たな客層の獲得、文化の担い手の育成に繋がっていることから、継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	2,306千円
(15)	[再掲]リハーサル事業	文化ホール	ホールの予約に空きがあるタイミングで、ホールのステージにおいてグラウンドピアノを使用した演奏を行える機会を30分1,000円の価格設定で提供した。	225千円	C	コロナ禍で、発表に向けた演奏の場を提供できていることから継続して実施する。	クレアホールにてストリートピアノ体験として実施。ホール利用のない日にロビーでグラウンドピアノの演奏の機会を無料で提供。	0	

基本施策	No.	事業名	担当課	R2		今後の取組	左記の理由	R3	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
⑤ 子どもおよび若者の文化活動の充実	24	アートフェスタくさつ	生涯学習課	新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	73千円	C	来場者数は増加傾向にあり、事業効果が高まっている。今後も市民の交流や、子どもが文化芸術に触れる機会を提供できるよう継続して実施する。	新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、実施可能な出店・参加方法について具体的に検討していく。市内の文化団体を網羅する草津市21世紀文化芸術推進協議会との協働で、市役所を中心に、幼児から小学生を対象(大人も参加可)としたアートワークショップを実施する。	1,391千円
	25	キッズシネマ塾	生涯学習課	一般社団法人草津に美しい文化芸術を育む会へ委託し、草津の歴史文化、産業などを題材に、小学生が本物の機材を使用した映画撮影に携わる「キッズシネマ塾」を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	430千円	C	受講した子どもたちからは好評の声をいただいており、草津の文化や歴史を学ぶ機会を提供できるため、今後も継続して事業を実施する。	今年度は昨年度、新型コロナウイルス感染症により中止となった「草津の竹」をテーマにキッズシネマ塾を開講する。	1,171千円
	26	クレア舞台芸術学校	文化ホール	小学生～中学生を対象に出演者を募集し、歌、ダンス、芝居や舞台の礼儀のレッスンおよびオリジナルミュージカルの公演を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、昨年度延期となった「草津みずの森Express～ここはクレア高原」を上演した。	3,544千円	C	単にミュージカルを発表するだけでなく、草津の魅力を紹介し、まちづくりに参加するチームとして育成しており、地域からのオファーがあることから、継続して実施する。	オーディションに合格した38名(小学3年生～中学3年生)が基礎からダンス、歌、お芝居を学び総合舞台芸術を体験。オリジナルミュージカル『クレアの瞬間～いま夢に向かって～』を上演予定。	7,250千円
	27	マッチと一緒にあそぼう！コンサート	文化ホール	—	—	—	新規	公益財団法人草津市コミュニティ事業団のマスコットキャラクター「まちかつマッチ」のオリジナル絵本を音楽物語にして、子育て世代が楽しめるコンサートを実施する。	988千円
	28	教育プログラム事業	草津宿街道交流館	新型コロナウイルス感染防止のため、予定していたイベントの大部分を中止した。秋に、草津宿本陣で開催した「本陣四季彩々」に関連し、感染防止対策を徹底して紙芝居・工作ワークショップを開催した。	0	C	地域の歴史文化に親しんでもらうため、引き続き、子ども向け事業を実施していく。	引き続き感染防止対策をとりつつ、他事業と関連して子ども向けにもイベント企画・普及啓発を行っていく。	0
	29	子ども読書講演会	図書館	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら、写真家・ジャーナリストの國森康弘氏をお招きし、「写真が語る、いのちのバトンリレー～悲しくもあたたかな死の先に～」と題して講演会を行った。新型コロナウイルス感染症が流行するなかで、「看取り」や「命」について改めて考える機会となった。	50千円	C	本や読書に興味をもってもらう契機となる事業であり、継続して行っていく。	事業名を「市民読書講座講演会」に変更し、その時期に関心の深まっているテーマや市民生活に密着した内容等検討しながら講演者を決定する。	40千円
	30	子どもの本の教室	南草津図書館	子どもの読書への興味・関心、図書館への来館のきっかけづくりとして、開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止した。	50千円	E	今後は、毎年開催ではなく周年事業等のイベントの一環として、別の形で行う検討をしているため。	—	—
	(16)	〔再掲〕次世代文化体験プロジェクト情報発信事業	生涯学習課	—	—	—	新規	草津市教育委員会が後援している事業のうち、次世代文化体験プロジェクトに該当するものについて、該当事業をリスト化し、ホームページ、アプリ等で周知を行う。	0
(4)	〔再掲〕クレアプラスフェスティバル	文化ホール	新型コロナ感染症の影響を受け、一堂に会しての実施は取り止め、個別に演奏の様子を収録し、その模様をYouTubeで配信した。	477千円	C	市内中学、高校、大学、一般吹奏楽団体が一堂に会する機会の提供と合同演奏プログラムは青少年にとって貴重な経験となり、育成につながるため継続して実施する。	今後、実行委員会で事業計画を検討していく。	1,198千円	

基本施策	No.	事業名	担当課	R2		今後の取組	左記の理由	R3	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
⑥ 高齢者、障害者等の文化活動の充実	31	ルーフトップコンサート	生涯学習課	文化ホールとの協働で県の委託事業を受託。事業趣旨のアナウンス、看護師の配置、手話通訳および要約筆記の配置など、誰もが鑑賞しやすい配慮を行ったジャズコンサートを開催。会場に来られない方に向けて、YouTubeによる配信を行う他、草津駅東口デッキ周辺にて音源の放送とYouTubeのQRコードの掲示を行った。	713千円	E	滋賀県の支援が無くなったため、一旦廃止する。今後は、アウトリーチのメニューとしてタイミングを見て実施する。	—	—
	32	こども芸術鑑賞応援制度	生涯学習課	文化ホールとの協働で実施。令和2年度は、試験的に実施しニーズの調査を行った。ひとり親家庭に募集したところ、14組の応募があり、抽選の結果10組22名を京都市交響楽団のクラシックコンサートに招待した。	88千円	B	招待客から好評を得たため、継続的な仕組みとなるよう取組を強化する。	企業からの寄付を募ったうえで、ひとり親家庭の家族を抽選でミュージカル、コンサート等に招待する。	0
	33	みんなともだちコンサート (おでかけコンサート)	生涯学習課	文化ホールとの協働で県の委託事業を受託。当初、障害者施設に向く「おでかけコンサート」を計画していたが、コロナの影響により文化ホールでの実施とした。事業趣旨のアナウンス、看護師の配置、手話通訳および要約筆記の配置、座席を一部撤去し車椅子席を設けるなど、誰もが鑑賞しやすい配慮を行った。ケアリングクラウン協力の元、体を動かすプログラムを実施し、誰もが同じ空間で文化に親しむことができる環境を創出した。	0	C	滋賀県の支援が無くなったが好評を得たため、指定管理者によるインリーチプログラムの一つとして継続して実施する。	インリーチプログラムとして開催予定。	0
	34	草津市国際交流協会運営費補助金	まちづくり協働課	新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での開催が困難な期間もあったが、オンラインを活用しながら日本語教室や異文化理解セミナー、交流イベントを開催し多文化共生の推進に努めた。 また、UDCBKと連携して開催したやさしい日本語サロンにおいて、外国人住民のコミュニケーションに関する意見等を聞き取り、「草津市多文化共生推進プラン」に反映させた。	6,553千円	C	今後の外国人住民の増加を見据え、草津市の多文化共生の更なる推進を図るため。	これまでの国際交流に加えて今後の外国人住民の増加を見据え、日本語教室の拡大に向けて手法を検討する。また、UDCBKと連携し、多文化交流会やセミナーを開催し異文化理解や多文化共生意識の醸成に努める。	6,587千円
	35	文化教養講座	障害福祉課	障害者の家庭生活や地域生活に有用な訓練・趣味・文化活動・IT利用等に関する講座を企画・運営した。(絵手紙、陶芸、体操、生花、パソコン等) (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、全14講座のうち4講座は休講となった)	578千円	C	障害者の社会参加・地域交流の促進のため必要な事業であるため、継続して実施する。	講座内容の充実を図るため、実施講座および回数の見直しを行う。	1,135千円
	36	特別企画 ウインターコンサート	子育て相談センター	ミュージカル、うたのイベントを行い、歌とリズムで親子の触れ合いを楽しんだ。	100千円	C	例年多くの参加者があり、親子交流の場の提供が子育て不安の解消に繋がっており、また、R2年度から「サマーフェスティバル」と「クリスマスコンサート」を一本化し、事業費を増大することで事業内容の充実を図ったことから継続して実施する。	昨年度と同様の内容で実施予定。	100千円
	(27)	[再掲] マッチと一緒にあそぼう！コンサート	文化ホール	—	—	—	新規	公益財団法人草津市コミュニティ事業団のマスコットキャラクター「まちかつマッチ」のオリジナル絵本を音楽物語にして、子育て世代が楽しめるコンサートを実施する。	988千円

基本施策	No.	事業名	担当課	R2		今後の取組	左記の理由	R3	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
⑦ 学校等における文化活動の充実	37	草津市青少年俳句大会	生涯学習課	草津市内小学校(14校)5、6年生および中学校(市立6校、私立1校)全学年を対象とし、投句用紙を配布して、1人につき一投句してもらった。小・中合わせて入賞作品100句には賞状を贈り、優秀作品については記念品を贈った。また、R3年2月上旬に市役所1階ロビーに展示の場を設けて発表した。	264千円	C	学校を通じて投句を募集することで、多くの子どもたちからの応募があり、ふるさと意識の醸成や国語教育の充実につながっていることから継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	252千円
	38	学校アート化計画	生涯学習課	こども園にアート作品を設置し、子どもたちの変化や反応を観察し、アートが教育にもたらす効果について検証した。また、美術教育における子ども達との関わり方について職員のヒントになるよう、事前に研修を実施した。	0	E	3年間継続して実施し、一定の成果を挙げたことから、一旦廃止する。今後は滋賀大学との連携事業として、園のニーズに合わせて実施する。	—	—
	39	こころの劇場	文化ホール	新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	0	C	子ども達に本物の芸術を鑑賞してもらう事業として、舞台芸術への関心を深め、豊かな感性を育てる手助けとなっており、学校事業として定着しつつあることから継続して開催。	新型コロナウイルス感染症対策として、リモート鑑賞会を学校に案内する。	0
	40	博学連携事業	草津宿街道交流館	史跡草津宿本陣への学校単位での見学を受入れ、各小学校の依頼により、青花紙について、草津川マンボについての出前授業をそれぞれ1校で開催した。また、博学連携に関する学校現場のニーズについて聞き取りを行った。	0	C	引き続き、学校教育の中で市の歴史資産を活用してもらうため継続して実施する。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策をとりつつ、可能な範囲で事業を実施していく。	0
	41	巡回図書「ブックん」の配本	図書館	「環境と算数」、「滋賀県の作家」、「写真集と絵本」、「国語の教科書に出てくる本」等のセットを市内14小学校へ学期毎に巡回し、授業や学校図書館等で活用いただいた。	0	B	より子どもたちや先生方が利用しやすいセット内容にするため、セットの本の入れ替えを行う。	セットの見直しを行い、3校分のセット内容の入れ替えを行う。	990千円
	42	出張ブックトーク	図書館	司書が学校へ出向き、一つのテーマでいるんなジャンルの本を紹介することで、子どもたちの読書欲求の掘り起こしと読書領域を広げる役割を果たすものであるが、新型コロナウイルス感染症拡大により、学校からの依頼がなく、実施していない。	0	C	まだ出張ブックトークを実施していない学校への働きかけを行いつつ、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら、引き続き実施する。	新型コロナウイルス感染症防止策を講じながら実施予定。	0
	43	くさつビプリオバトル	学校政策推進課	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「みなくさまつり」が実質上での中止となった。「みなくさまつり」の日に行うビプリオバトルについても協議を重ね、進行をはじめとした運営面が困難であること、ハトラーを含めた参加者全員でチャンプ本を決定するというビプリオバトルのルールを遵守できないこと等を鑑み、中止した。ただし、「英語の部」はオンラインで開催した。	0	C	「くさつビプリオバトル」は中止したものの、前年度まで一般の出場者のみであった「英語の部」に、中学生を中心として子どもの参加に向けて積極的に取り組んだ結果、市立中学校から4名の生徒が参加した。このような取組の広がりを、次年度も引き継いでいく。	大きな変更はないが、令和元年度までの取組内容をもとに内容を充実させて開催するとともに、令和2年度に4名の市立中学校の生徒がエントリーした「英語の部」に、引き続きエントリーする。	40千円
	44	草津市青少年美術展覧会	学校政策推進課	本市小・中学校から平面・立体・書写作品を集め、幼稚園や保育所などからは平面・立体作品を集め、草津市役所2階特大会議室で展示し、広く一般に公開した。コロナ禍での開催となったため、会場の密を避ける目的で、展示作品数を例年の約半数とした。また、推奨作品を草津市のホームページに「草津市青少年美術展推奨作品集」として掲載した。	391千円	B	58回続く草津市青少年美術展覧会は、草津市の子どもたちだけではなく、広く市民に認知され、継続への期待が大きいため継続して実施する。	会場を、キラエ草津に変更する。会場の広さの関係で図工作品と書写作品を分散して展示する必要があるため、展示室が2つの階に分かれる。また、監視員の増員が必要のため、シルバー人材も活用する。	482千円
(14)	[再掲]アウトリーチ事業	文化ホール	ルーフトップコンサートを開催した。その他、障害者福祉施設へのアウトリーチコンサートを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とし、インリーチコンサートを開催した。	9,064千円	C	誰もが文化に触れる機会の充実に資する事業となっているため、地域の要望に応じ、継続して実施する。	学校や地域の要望に応じてアウトリーチ、インリーチを実施する。	2,043千円	

基本施策	No.	事業名	担当課	R2		今後の取組	左記の理由	R3	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
⑧文化によるまちづくりの推進	45	星降る映画館	生涯学習課	新型コロナウイルス感染症対策として、会場を草津川跡地公園から草津アマカホールに変更し、人数制限を行い事前予約制として開催した。親子で楽しめる短編映画集の上映と星空トークショーを実施した。	1,397千円	C	市外からの来場者も多く、草津市のPR及び中心市街地の活性化につながっていることから、継続して事業を実施する。	感染症対策を講じながら、草津川跡地公園de愛ひろばでの開催を検討する。	1,298千円
	46	草津宿場まつり	商工観光労政課	第52回草津宿場まつりの開催にあたり、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催中止となった。	0	C	本市の春のイベントとして定着しており、宿場町・草津を市内外にアピールする効果が得られているため、引き続き継続して実施する。	第53回草津宿場まつりは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、時代行列や草津大市、町衆熱演舞台を実施せず、密集を避けた街道沿い周遊型の謎解きやクイズラリー、声を発しないストリートピアノ等の催しを実施。	4,500千円
	47	草津街あかり華あかり夢あかり	商工観光労政課	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催中止となった。	0	C	秋の風物詩として定着しつつあるイベントで、普段とは違ったまちの景色を楽しみながら、地域の魅力を再発見し、愛着を持ってもらうことで地域ならびに商店街の活性化に繋げるため、継続して実施する。	第18回草津街あかり華あかり夢あかりは、会場を草津川跡地公園de愛ひろばに集約し、あかり銀河やあかりART展、ものづくり横丁等の企画を実施予定。	3,135千円
	48	草津版ヘルズツーリズム実証事業	商工観光労政課	本市における地域資源の発掘・磨き上げを通じて着地型観光として、市内事業者の参画する5つの商品を造成したが、新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止した。	288千円	C	造成する商品を増やし、将来的に草津市観光物産協会が運営主体となって事業が継続して実施できるよう、商品造成および観光資源の磨き上げを行い、運営体制を整える。	事業者へ観光商品を提案し、共に造成する手法から、事業者発信の企画に対し補助するような造成方法へとシフトし、事業者負担を軽減。長期的に複数回の実施や草津市のピーター増加を目指す。	600千円
	49	出会いバス運行事業	商工観光労政課	R1に実施した内容を踏まえ、運行するコースの見直し、滋賀県が大型キャンペーンとして実施している「戦国ワンダーランド」との連携などを予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止となった。	0	C	滋賀県が実施している観光キャンペーンとの連携や、歴史文化財課と連携して取り組むことにより更なる観光客の誘致を検討する。	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、志那三郷藤まつりやサンヤレ踊りが中止された為、中止となった。	0
	50	みんなdeつなご 草津まちイルミ	都市再生課	夜の草津を回遊してもらうため、草津駅周辺の商業施設と協力し、まちなかをイルミネーションで彩った。	2,000千円	C	イベントを毎年開催することで、草津の冬の風物詩として定着しているため、引き続き継続していく。	イルミネーションの設置位置の見直し、新設、増設やイベントについて、草津市中心市街地活性化協議会の草津駅前賑わい創出プロジェクトにて検討を行う。	2,000千円
	51	草津小市	都市再生課	お寺でのレトロ映画の上映会や、しめ縄づくり、ぼち袋づくりのワークショップを行った。	562千円	C	昨年度も好評であり、本陣周辺エリアにおける賑わい創出に寄与しているため、イベント内容の精査を行いながら、継続して実施予定。	前年度の内容を踏まえて、出店者やイベント内容の精査を行う。	800千円
	(36)	〔再掲〕特別企画ウインターコンサート	子育て相談センター	ミュージカル、うたのイベントを行い、歌とリズムで親子の触れ合いを楽しんだ。	100千円	C	例年多くの参加者があり、親子交流の場の提供が子育て不安の解消に繋がっており、また、R2年度から「サマーフェスティバル」と「クリスマスコンサート」を一本化し、事業費を増大することで事業内容の充実を図ったことから継続して実施する。	昨年度と同様の内容で実施予定。	100千円
	(35)	〔再掲〕文化教養講座	障害福祉課	被害者の家庭生活や地域生活に有用な訓練・趣味・文化活動・IT利用等に関する講座を企画・運営した。(絵手紙、陶芸、体操、生花、パソコン等) (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、全14講座のうち4講座は休講となった)	578千円	C	障害者の社会参加・地域交流の促進のため必要な事業であるため、継続して実施する。	講座内容の充実を図るため、実施講座および回数の見直しを行う。	1,135千円
	(38)	〔再掲〕学校アート化計画	生涯学習課	こども園にアート作品を設置し、子どもたちの変化や反応を観察し、アートが教育にもたらす効果について検証した。 また、美術教育における子ども達との関わり方について職員のヒントになるよう、事前に研修を実施した。	0	E	3年間継続して実施し、一定の成果を挙げたことから、一旦廃止する。今後は滋賀大学との連携事業として、園のニーズに合わせて実施する。	—	—
	(31)	〔再掲〕ルーフトップコンサート	生涯学習課	文化ホールとの協働で県の委託事業を受託。事業趣旨のアナウンス、看護師の配置、手話通訳および要約筆記の配置など、誰もが鑑賞しやすい配慮を行ったジャズコンサートを開催。会場に来られない方に向けて、YouTubeによる配信を行う他、草津駅東口デッキ周辺にて音源の放送とYouTubeのQRコードの掲示を行った。	713千円	E	滋賀県の支援が無くなったため、一旦廃止する。今後は、アウトリーチのメニューとしてタイミングを見て実施する。	—	—
	(32)	〔再掲〕こども芸術鑑賞応援制度	生涯学習課	文化ホールとの協働で実施。令和2年度は、試験的に実施しニーズの調査を行った。ひとり親家庭に募集したところ、14組の応募があり、抽選の結果10組22名を京都市交響楽団のクラシックコンサートに招待した。	88千円	B	招待客から好評を得たため、継続的な仕組みとなるよう取組を強化する。	企業からの寄付を募ったうえで、ひとり親家庭の家族を抽選でミュージカル、コンサート等に招待する。	0
	(33)	〔再掲〕みんなともだちコンサート(おでかけコンサート)	生涯学習課	文化ホールとの協働で県の委託事業を受託。当初、障害者施設に向く「おでかけコンサート」を計画していたが、コロナの影響により文化ホールでの実施とした。事業趣旨のアナウンス、看護師の配置、手話通訳および要約筆記の配置、座席を一部撤去し車椅子席を設けるなど、誰もが鑑賞しやすい配慮を行った。 ケアリングクラウン協力の元、体を動かすプログラムを実施し、誰もが同じ空間で文化に親しむことができる環境を創出した。	0	C	滋賀県の支援が無くなったが好評を得たため、指定管理者によるインリーチプログラムの一つとして継続して実施する。	インリーチプログラムとして開催予定。	0

基本施策	No.	事業名	担当課	R2		今後の取組	左記の理由	R3	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
⑨ 文化を通じた出会いおよび交流の創出	52	みなくさまつり	商工観光労政課	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催延期となった。	0	B	第10回記念として、盛大にイベントを開催する予定であるため。	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催延期となった。	0
	53	アミカ&クレアで会いましょう	文化ホール	HPから楽譜、音源をダウンロードし、自宅からリモート音楽会に参加することができるプログラムを作成。映像上でのアーティストとの共演や、ジャンルを超えた交流および発表の場を提供した。 課題楽曲:「アミカで会いましょう」「クレアで会いましょう」	1,000千円	C	市民から公募した文化ホールがテーマ曲を多くの市民に親しんでもらうため継続して実施する。	「クレアで会いましょう」「アミカで会いましょう」プロジェクトを通して広がった音楽団体が、舞台で共演するコンサートを展開予定。リモート音楽会から、舞台公演に切り替える。	1,153千円
	(8)	〔再掲〕えふえむ草津サテライト公開ラジヲ番組連携スプリングコンサート	文化ホール	草津市出身のピアニスト稲垣聡氏と新垣隆氏をゲストに迎え、1年間を通じてリモートで繋がることを目的に実施してきた「クレアで会いましょうプロジェクト」を振り返り、市民団体との演奏等を披露した。	3,362千円	E	別事業に変更するため。ピアニスト稲垣聡を芸術監督に迎え、オーケストラによるコンサートを「滋賀県アートコラボレーション事業」として実施予定。	—	—
	(10)	〔再掲〕アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業	UDCBK	アーバンデザインスクールは、前期と後期に分け、各5回の開催を予定していたが、施設内での対面講義形式でのスクール開催は3密対策の観点から見直しせざるを得ず、前期のスクール開催を断念した。後期については、テーマを「これからの健幸都市に向けて～with/afterコロナのまちづくり～」とし、実施した。アーバンデザインセミナーでは「20年後の南草津の『まちと交通』の未来を考えよう」や「『健やかなまち』を考える」というテーマを中心に実施した。	349千円	C	産学公民連携を基礎として草津市の未来を考えるためには、中長期的に事業を継続していく必要があるため。	オンラインを併用することで、昨年のような開催中止をすることなく、予定どおりに実施する。	829千円
	(24)	〔再掲〕アートフェスタくさつ	生涯学習課	新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	73千円	C	来場者数は増加傾向にあり、事業効果が高まっている。今後も市民の交流や、子どもが文化芸術に触れる機会を提供できるよう継続して実施する。	新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、実施可能な出店・参加方法について具体的に検討していく。市内の文化団体を網羅する草津市21世紀文化芸術推進協議会との協働で、市役所を中心に、幼児から小学生を対象(大人も参加可)としたアートワークショップを実施する。	1,391千円
	(20)	〔再掲〕クリエイターズマーケット	生涯学習課	新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	※アートフェスタに含む	C	市民とアーティスト、アーティスト間の交流が広がるよう、継続して実施する。	新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、実施可能な出店・参加方法について検討していく。 展示/販売/ワークショップの他、マルシェやライブなど県内外で活躍するアーティスト、クリエイターによる出店を行う。	※アートフェスタに含む
	(34)	〔再掲〕草津市国際交流協会運営費補助金	まちづくり協働課	新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での開催が困難な期間もあったが、オンラインを活用しながら日本語教室や異文化理解セミナー、交流イベントを開催し多文化共生の推進に努めた。また、UDCBKと連携して開催したやさしい日本語サロンにおいて、外国人住民のコミュニケーションに関する意見等を聞き取り、「草津市多文化共生推進プラン」に反映させた。	6,553千円	C	今後の外国人住民の増加を見据え、草津市の多文化共生の更なる推進を図るため。	これまでの国際交流に加えて今後の外国人住民の増加を見据え、日本語教室の拡大に向けて手法を検討する。また、UDCBKと連携し、多文化交流会やセミナーを開催し異文化理解や多文化共生意識の醸成に努める。	6,587千円
	(43)	〔再掲〕くさつビプリオバトル	学校政策推進課	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「みなくさまつり」が実質上の中止となった。「みなくさまつり」の日に行うビプリオバトルについても協議を重ね、進行をはじめとした運営面が困難であること、ハトラーを含めた参加者全員でチャンプ本を決定するというビプリオバトルのルールを遵守できないこと等を鑑み、中止した。ただし、「英語の部」はオンラインで開催した。	0	C	「くさつビプリオバトル」は中止したものの、前年度まで一般の出場者のみであった「英語の部」に、中学生を中心として子どもの参加に向けて積極的に取り組んだ結果、市立中学校から4名の生徒が参加した。このような取組の広がりを、次年度も引き継いでいく。	大きな変更はないが、令和元年度までの取組内容をもとに内容を充実させて開催するとともに、令和2年度に4名の市立中学校の生徒がエントリーした「英語の部」に、引き続きエントリーする。	40千円

基本施策	No.	事業名	担当課	R2		今後の取組	左記の理由	R3	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
⑩ 文化的資産の承継および活用	54	俳句入門講座	生涯学習課	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、全講座を中止した。	0	C	受講者による新句会が設立されており、俳句人口の拡大につながっていることから、継続して実施する。	初心者を対象に、俳句の基礎を学ぶ全4回連続講座を開催。うち一回は、史跡草津宿本陣や草津宿街道交流館で現地学習を行い、草津の歴史や文化に触れたあとに句を詠み、講師から句評を受ける。	52千円
	55	ふるさと草津俳句会	生涯学習課	年4回、広報くさつや図書館・各地域まちづくりセンター等において投句を募集し、広報くさつ・草津市ホームページ・えふえむ草津で優秀作を発表する。	40千円	C	広報紙を活用し、毎回、多数の市民から応募があり、俳句のまちづくり事業のPRにつながっていることから、継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	35千円
	56	くれあ座	文化ホール	新作として草津市を題材とした「いそがば回れ」他2演目を上演した。	1,054千円	C	古典作品だけでなく、草津を題材にしたオリジナル狂言上演することで狂言に興味を持ち古典文化の普及につながるため、継続して実施する。	草津や青花にゆかりのある古典作品と新作狂言を上演する。	1,086千円
	57	草津あおばな会運営費補助事業	農林水産課	①草津あおばな企画展(市立水生植物公園みずの森、庁舎1階ロビー)の開催 新型コロナウイルスの影響により「草津あおばなフェスタ」が中止となったことから、代替事業として新たに企画展を開催した。 ②みんなであそぶ(市内小学校2校)の開催 ③「あおばな紙担い手セミナー」(7月 湖南農業高等学校他)の開催 ④市関係施設への啓発用あおばな苗配布や啓発冊子の作成・配布	545千円	C	新たな取組として「草津あおばな企画展」等を実施し、さらに多くの市民に草津市の花「アオバナ」を知っていただける場を設けた。今後もあおばなの歴史や魅力を伝えるため、継続して事業実施を行う。	①新型コロナウイルスの影響により中止となった草津あおばなフェスタの代わりとなるイベントを開催する。 ②新設された草津青花紙製造技術保存会との連携を図り、青花紙の普及啓発に努める。 ③啓発冊子の改訂(通年)	600千円
	58	文化財保護助成事業	歴史文化財課	指定文化財所有者および管理者に対し、文化財保存管理に係る補助を行い、当該文化財の保護継承等を図った。	1,661千円	C	文化財保護助成事業は、地域の貴重な文化財を適切に保存・活用するうえで必要な取組であり、今後も積極的に事業を進めていく必要があるため、継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	1,647千円
	59	くさつ・歴史発見塾開催事業	草津宿街道交流館	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止した。	0	C	近江・草津の歴史文化の深い学びの機会を提供していくため、引き続き継続して実施する。	新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を注視しながら、全5回開催するとともに、前年度中止した講座を復活開催する。	181千円
	60	草津宿街道交流館テーマ展開催事業	草津宿街道交流館	年3回の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により1回を中止した。 ①浮世絵から知ろう!! 戦国時代の英雄たち (R2.9.19~R2.11.8) ②くさつ、村の古文書を知る (R3.3.13~R3.5.16)	613千円	C	引き続き、草津宿や街道の歴史・文化について理解を深められる内容の展示を開催する。	7月からの夏季テーマ展では、草津宿本陣一般公開25周年記念として展示会場に本陣を加えている。 秋季テーマ展では、他館の資料を借用する予定であることから、その借用に係る運搬費などを計上している。	1,151千円
	61	草津宿本陣歴史資料調査	草津宿街道交流館	草津宿本陣に残る歴史資料の調査を実施する。4か年計画で有識者による調査委員会を設置し、調査員・調査補助員を置いて、資料全体の整理・調査を行った。	2,122千円	C	引き続き、草津宿本陣に残る歴史資料の調査を実施するため継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施し、調査報告書を発行する。	2,801千円
	62	草津宿本陣結婚式	草津宿街道交流館	草津市観光物産協会に加盟するホテルが、結婚式の前撮りの撮影を史跡草津宿本陣で行なった。	0	C	結婚式の前撮りなどの需要が高く、今後も史跡草津宿本陣に親しみを持ってもらう機会として期待できるため継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	0
	63	史跡草津宿本陣 特別開館「ほんじんナイトミュージアム！」	史跡草津宿本陣	若年層の来館促進のため、本陣内で夜間に影絵の上映および造花展示のイベントを行った(8月15日)。また、草津宿本陣の普及啓発や本陣主催事業「本陣四季彩々 冬の本陣」の集客のため、関連イベントとして、影絵の上映を行った(1月9日)。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、定員を設けて事前予約制とし、消毒や換気等を徹底し開催した。	0	C	若年層を含めた多くの来館者が得られたため、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に配慮しつつ継続して実施する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また、夜間外出者が減少傾向であることから、草津宿本陣では夜間開館を自粛する。夜間イベントの代替として、草津街あかりと関わるランプを作るワークショップを行う。	0
	64	本陣楽座・伝統文化に触れるワークショップ事業	史跡草津宿本陣	新型コロナウイルス感染拡大予防のため、会場を風通しの良い広間に変更し、上方落語協会所属の落語家による「本陣楽座 落語会」を不定期で開催(計5回)し、「本陣楽座 落語会 特別版」を年1回開催した。	770千円	C	本陣を利用した伝統文化の鑑賞・体験は人気も高く、リピーターの確保だけでなく、市内外の人々の来館にもつながっており、引き続き広く普及啓発を行っていくため、継続して実施する。	広間にて4~6月・9~11月に月1回「本陣楽座 落語会」を開催する。また、年1回「本陣楽座 落語会 特別版」を開催する。	660千円
	65	本陣四季彩々事業	史跡草津宿本陣	夏の本陣「ほんじんクイズラリー」、秋の本陣「特別展 本陣職はつらいよ〜佐土原藩主急死事件とその後〜」、冬の本陣「本陣で迎える新しい年」、春の本陣「本陣に伝わるおひなさま」を開催した。また、各回、美術品や生け花などの設え、展示、ワークショップなどを行った。	268千円	C	若年層を含め、多くの来館者が得られたため、継続して実施する。	夏・秋はそれぞれ共催などの形でコラボレーション企画を行い、冬・春は本陣の魅力を発信する展示やワークショップを行う。	206千円
	(25)	〔再掲〕キッズシネマ塾	生涯学習課	一般社団法人草津に美しい文化芸術を育む会へ委託し、草津の歴史文化、産業などを題材に、小学生が本物の機材を使用した映画撮影に携わる「キッズシネマ塾」を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	430千円	C	受講した子どもたちからは好評の声をいただいております。草津の文化や歴史を学ぶ機会を提供できるため、今後も継続して事業を実施する。	今年度は昨年度、新型コロナウイルス感染症により中止となった「草津の竹」をテーマにキッズシネマ塾を開講する。	1,171千円
(37)	〔再掲〕草津市青少年俳句大会	生涯学習課	草津市内小学校(14校)5、6年生および中学校(市立6校、私立1校)全学年を対象とし、投句用紙を配布して、1人につき一投句してもらった。小・中合わせて入賞作品100句には賞状を贈り、優秀作品については記念品を贈った。また、R3年2月上旬に市役所1階ロビーに展示の場を設けて発表した。	264千円	C	学校を通じて投句を募集することで、多くの子どもたちからの応募があり、ふるさと意識の醸成や国語教育の充実につながっていることから継続して実施する。	前年度と同様の内容で実施予定。	252千円	

基本施策	No.	事業名	担当課	R2		今後の取組	左記の理由	R3	
				事業内容	事業費			昨年度からの変更点	事業予算
	(21)	〔再掲〕ロジウラテラス	生涯学習課	新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	※アートフェスタに含む	C	多くの来場があり、事業効果があると考えられるため、今後も寺院の立地を活かした文化体験の機会を提供できるよう、事業を継続する。	新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、実施可能な出店・参加方法について検討していく。街道の路地裏に集まるお寺4カ所を舞台に、ワークショップやライブなどの参加型アートプログラムを実施する。	※アートフェスタに含む
	(26)	〔再掲〕クリア舞台芸術学校	文化ホール	小学生～中学生を対象に出演者を募集し、歌、ダンス、芝居や舞台の礼儀のレッスンおよびオリジナルミュージカルの公演を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、昨年度延期となった「草津みずの森Express～ここはクリア高原」を上演した。	3,544千円	C	単にミュージカルを発表するだけでなく、草津の魅力を紹介し、まちづくりに参加するチームとして育成しており、地域からのオファーがあることから、継続して実施する。	オーディションに合格した38名（小学3年生～中学3年生）が基礎からダンス、歌、お芝居を学び総合舞台芸術を体験。オリジナルミュージカル『クリアの一瞬』～いま夢に向かって～を上演予定。	7,250千円
	(23)	〔再掲〕青花紙担い手セミナー	草津宿街道交流館	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止した。	0	E	青花紙担い手セミナーの参加者を中心とした草津青花紙製造技術保存会が設立され、その団体において、技術の保存継承活動が実施されることとなったため。	以後は、草津青花紙製造技術保存会において実施。	—
	(28)	〔再掲〕教育プログラム事業	草津宿街道交流館	新型コロナウイルス感染防止のため、予定していたイベントの大部分を中止した。秋に、草津宿本陣で開催した「本陣四季彩々」に関連し、感染防止対策を徹底して紙芝居・工作ワークショップを開催した。	0	C	地域の歴史文化に親しんでもらうため、引き続き、子ども向け事業を実施していく。	引き続き感染防止対策をとりつつ、他事業と関連して子ども向けにもイベント企画・普及啓発を行っていく。	0
	(40)	〔再掲〕博学連携事業	草津宿街道交流館	史跡草津宿本陣への学校単位での見学を受入れ、各小学校の依頼により、青花紙について・草津川マンボについての出前授業をそれぞれ1校で開催した。また、博学連携に関する学校現場のニーズについて聞き取りを行った。	0	C	引き続き、学校教育の中で市の歴史資産を活用してもらうため継続して実施する。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策をとりつつ、可能な範囲で事業を実施していく。	0
	(46)	〔再掲〕草津宿場まつり	商工観光労政課	第52回草津宿場まつりの開催にあたり、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催中止となった。	0	C	本市の春のイベントとして定着しており、宿場町・草津を市内外にアピールする効果が得られているため、引き続き継続して実施する。	第53回草津宿場まつりは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、時代行列や草津大市、町衆熱演舞台を実施せず、密集を避けた街道沿い周遊型の謎解きやクイズラリー、声を発しないストリートピアノ等の催しを実施。	4,500千円
	(47)	〔再掲〕草津街あかり華あかり夢あかり	商工観光労政課	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催中止となった。	0	C	秋の風物詩として定着しつつあるイベントで、普段とは違ったまちの景色を楽しみながら、地域の魅力を再発見し、愛着を持ってもらうことで地域ならびに商店街の活性化に繋げるため、継続して実施する。	第18回草津街あかり華あかり夢あかりは、会場を草津川跡地公園de愛ひろばに集約し、あかり銀河やあかりART展、ものづくり横丁等の企画を実施予定。	3,135千円
	(48)	〔再掲〕草津版ヘルズツーリズム実証事業	商工観光労政課	本市における地域資源の発掘・磨き上げを通じて着地型観光として、市内事業者の参画する5つの商品を造成したが、新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止した。	288千円	C	造成する商品を増やしつつ、将来的に草津市観光物産協会が運営主体となって事業が継続して実施できるよう、商品造成および観光資源の磨き上げを行い、運営体制を整える。	事業者へ観光商品を提案し、共に造成する手法から、事業者発信の企画に対し補助するような造成方法へとシフトし、事業者負担を軽減。長期的に複数回の実施や草津市のピーター増加を目指す。	600千円
	(49)	〔再掲〕出合いバス運行事業	商工観光労政課	R1に実施した内容を踏まえ、運行するコースの見直し、滋賀県が大型キャンペーンとして実施している「戦国ワンダーランド」との連携などを予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止となった。	0	C	滋賀県が実施している観光キャンペーンとの連携や、歴史文化財課と連携して取り組むことにより更なる観光客の誘致を検討する。	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、志那三郷藤まつりやサンヤレ踊りが中止された為、中止となった。	0
	(51)	〔再掲〕草津小市	都市再生課	お寺でのレトロ映画の上映会や、しめ縄づくり、ぼち袋づくりのワークショップを行った。	562千円	C	昨年度も好評であり、本陣周辺エリアにおける賑わい創出に寄与しているため、イベント内容の精査を行いながら、継続して実施予定。	前年度の内容を踏まえて、出店者やイベント内容の精査を行う。	800千円

既存事業	A	0事業	(拡大)
	B	7事業	(強化)
	C	50事業	(継続)
	D	0事業	(縮小)
	E	6事業	(廃止)
	計	63事業	

新規事業	-	2事業
------	---	-----